

2023年11月29日

## みっちゃんのこと

～ ダウン症の子を中学校に迎えて ～

みっちゃんは中井光男(仮名)っています。私が八幡東中2年目のとき、校区の金田小学校から入学してきました。ダウン症という障がいをもっている子でした。学年の生徒数は約350人。多くが校区の3小学校からの入学です。近江八幡駅近郊の金田小が4クラス、南側の馬淵小が2クラス、八日市側の武佐小が2クラス、他の小学校からも入れて全9クラスの1年生です。私はこの年に担任からはずれて「加配」となりました。(1年4組の新任の先生の副担、学年の人権教育担当も)

中学校の1年生は、多くの学校で1学期は「なかまづくり」に取り組めます。なぜかという、一般的に違う小学校の子が中学で一緒になって、やんちゃな子がまずすることは、「一番を決めること」です。つまり、けんかをしてどの小学校出身の子がナンバー1になるかを決めるのです。中学校では、この1学期の「いもの子を洗う」時期をうまく乗り越えるためになかまづくりに力を入れています。当時は、野洲中など県内いくつもの中学校で4月後半に「ホームルーム合宿」を行い、学級集団づくりの出発にしておられました。私はそんな学校をうらやましく思ったのを覚えています。

さて、みっちゃんに話を戻します。その学年、馬淵小の子は6年生当時結構やんちゃな子が多く、服装(私服)が黒づくめだったので「黒軍団」とも呼ばれていました。金田小と武佐小の子は、小学校の先生たちの指導もあって、やんちゃな子のグループ化には至っていませんでした。新しい1年の教職員集団は、中学校生活が始まったこの学年を「みっちゃんへのいじめがない学年に!」を合言葉に、みっちゃんを学年の中心に据えて、各クラスでいじめのないなかまづくりをしていこうとスタートしました。お母さんもそれを一番心配されていたからです。

そこで、4月の第3週の学活に向けて、まず、みっちゃんをみんなに理解してもらうために、旧金田小の6年4組の子を集めました。みっちゃんと一年間同じクラスで過ごして、なかまづくりがうまくいっていたからです。この子たちは学年の9クラスにそれぞれ4人前後いましたから、この力を貸してもらうためです。集まった子たちは、6年生当時のことをいっぱい話してくれました。そして、みっちゃんをどう紹介したらいいのか、みんなで考えました。2回ぐらい集まったと思います。こうして、みっちゃんを紹介する学活で、どんな子なのか、いい所も悪い所も話してもらい、「みっちゃんがいたから楽しいクラスだった。」と締めくくってくれました。(この子たちは、学活の中盤で話してくれました。)

また、もう一つ、学年として考えたのは、みっちゃんのお母さんに話をしてもらうことでした。しかし、「350人もの生徒の前でしゃべるなんて、私にはとてもできません。」と断られてしまいました。でも、何回か訪問をする中で、『1年生のみなさんへ』という手紙を書いてもらえることにな

りました。その手紙は便箋に5～6枚あったと思います。みっちゃんを紹介する学活の最後に、各担任がこれを読みました。読んでいくうちに、声が震え出したり、涙でにじんで詰まったり……。この手紙には、お母さんのこれまでのみっちゃんと一緒に歩いて来られた思いがぎっしりと詰まっていました。

初めての健診でお医者さんから「この子には障がいがあって、みんなと同じようには育ちませんよ。」って言われ、「そんなことはない。このお医者さんの見立てが悪いからや。」と、別のお医者さんへ行ったこと。そして、そこでも同じことを言われ、「そんなはずはない。」と、もう一軒別のお医者さんへも……。しかし、結果は同じでした。帰宅後、みっちゃんが寝てる前で夫婦で泣いたこと。小学校入学前には、ちょっとでもみんなと同じことができるようにと、守山の小児医療センターへ、雨の日も雪の日も、それぞれ泣きながら通ったこと……。6年生で、クラスのなかまがいっぱいできて、毎日友だちと元気に通う息子（みっちゃん）をすごく嬉しく、いとおしく思ったことなど。……。手紙にはお母さんの思いがいっぱい綴られていました。学活が終わってから、いくつものクラスで担任が泣きながら読んでいったと聞きました。4組で学活を進めた私もそうでした。

こんな学活が終わり、みっちゃんのいるクラスの子が「でも、他のクラスの子は、みっちゃんの顔も知らんで。」ということを話しました。そこで、そのクラスで話し合った結果、昼食の弁当（八幡の中学校は当時給食はありませんでした。）のときに、班でみっちゃんと一緒に順番にクラスをまわろう。」ということになりました。こうしたたくましい子どもたちに支えられて、みっちゃんを学年の真ん中に据えたなかまづくりをやってきました。

そして、その金田小の6年4組を当時担任されていたのが、10年ほど前、野洲小でスクーリングケアサポーターとして活躍していただいていた福島先生です。今は、夏休みなどに地域の自治会館などで自主的な勉強会を組んだりして、小学生の支援をしてくださっています。人の出会って、本当にステキですね。